

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		国民健康保険給付事業			担当課	保険年金課	担当係	国保給付係	管理番号	17141	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり			根拠法令 個別計画等	国民健康保険保、国民健康保険法施行法、国民健康保険法施行令、国民健康保険法施行規則、深谷市国民健康保険条例、深谷市国民健康保険に関する規則				
	小項目	4	行財政運営の推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		国民健康保険法等に基づき、被保険者の疾病、負傷、出産又は死亡に関して、医療の給付又は療養費及び高額療養費等の支給をする。									
目的 ※何のために		社会保障及び国民保険の向上に寄与するため。国民健康保険法に基づく医療給付等を行い、被保険者が安心して医療を受けられる。									
対象 ※誰・何を対象に		被保険者。									
手段 ※どのように		被保険者が医療機関等へ受診するなどした場合の医療費等について、自己負担額を除く分を給付する。									
成果 ※何を求めるか		被保険者に対し、必要な給付を行う。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
		特別会計	1	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	医療費適正化事業		36,420,813
		特別会計	1	総務費	1	総務管理費	2	連合会負担金	連合会負担金		1,754,700
		特別会計	2	保険給付費	1	療養諸費	1	一般被保険者療養給付費	一般被保険者療養給付事業		8,796,424,410
		特別会計	2	保険給付費	1	療養諸費	2	退職被保険者等療養給付費	退職被保険者等療養給付事業		0
		特別会計	2	保険給付費	1	療養諸費	3	一般被保険者療養費	一般被保険者療養費給付事業		88,551,246
本事業の 主な業務		・ 移送費の支給（一般被保険者・退職被保険者）						・ 高額療養費支給			
		・ 高額療養費の貸付						・ 特別療養費の支給			
		・ 葬祭費の支給						・ 療養費の支給			
		・ 出産費資金の貸付						・ 入院時食事療養費（差額支給）			
		・ 審査支払手数料の拠出						・ 出産育児一時金の支給			
		・ 療養給付費の支給						・ レセプト点検業務			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	11,158,551,000	10,747,675,000	10,833,720,000	10,833,124,000		
	決算額	10,625,119,699	10,384,880,801	0	0		
	財源内訳						
	国支出金	26,000	23,000	0	0		
	県支出金	10,502,135,039	10,222,771,643	10,710,860,000	10,715,723,000		
	地方債	0	0	0	0		
人件費	他特定財源	52,451,934	53,764,159	73,517,000	75,434,000		
	一般財源	70,506,726	108,321,999	49,343,000	41,967,000		
総事業費試算		10,642,584,008	10,401,800,349	10,851,342,232	10,850,746,232		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標 1	実績値の算出式		人						
	年度平均被保険者数	目標値							
		実績値		32,038.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			被保険者数の増減は受動的であるため目標値は設定不可/各月末被保険者数の合計÷12月					
活動指標 2	実績値の算出式								
	保険給付額（療養給付費・療養費・高額医療費）	目標値	百万円						
		実績値	10,279.51						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		保険給付者数の増減は受動的であるため目標値は設定不可/年報数値						
活動指標 3	実績値の算出式								
	保険給付件数（療養給付費・療養費・高額医療費）	目標値	件						
		実績値	547.55						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		保険給付件数の増減は受動的であるため目標値は設定不可/年報数値						
成果指標 1	実績値の算出式								
	受給すべき医療費等について支給した件数の割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値	100.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		滞りなく支給していることを成果とした/支給件数÷支給すべき件数						
効率指標 1	実績値の算出式								
	被保険者1件当たり事業費	目標値	千円						
		実績値	324.14						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		事業費の増減は受動的であるため目標値は設定不可/総事業費÷被保険者数（年度平均）						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	年度平均被保険者数は年々減少している。保険給付額、保険給付件数ともに、微減している。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	支給すべき医療費等については円滑に支給を行った。	
			評価者	国保給付係長 清水 正史

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	レセプト点検業務を委託することにより、内部事務の効率化を図ることができた。	
			評価者	国保給付係長 清水 正史

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	国民健康保険給付事業	担当課	保険年金課	担当係	国保給付係	管理番号	17141
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		支給すべき医療費等は、何らの支障もなく支給することが出来ている。医療費の適正化に関する事業への取り組みを引き続き行うこととする。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保険年金課長 吉岡 紀久江				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	ジェネリック医薬品推奨関連事務（希望シール、差額通知等）の事業を実施し、医療費の適正化に努める。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	ジェネリック医薬品推奨関連事務（希望シール、差額通知等）の事業を実施し、医療費の適正化に努める。

8. 評価指標グラフ

